

## 日本医師会ニュース「平成 28 年熊本地震」：情報提供第三報

都道府県医師会 御中  
都市区医師会 御中

平成 28 年 4 月 18 日 19:30  
日本医師会災害対策本部

日本医師会のホームページに毎号掲載しています！！

[http://www.med.or.jp/people/info/people\\_info/004364.html](http://www.med.or.jp/people/info/people_info/004364.html)

【この情報提供については、テレビなどの報道となるべく重複しないもので、かつ災害に関する医療や医師会活動、医療活動などに関するものに限定しています】

日本医師会災害医療チーム（JMAT）が続々、熊本県に結集しています。大分県については自県にて対応可能として、現在は熊本県のみ限定しております。

4 月 16～17 日に熊本県医師会から派遣された 11 チーム計 33 名は派遣終了となりましたが、その後、18 日 14 時時点では 14 チーム計 54 名が活動中です。その内訳は、九州から熊本 5 チーム、鹿児島 3 チーム、福岡 3 チーム、日医、東京、兵庫から各 1 チームです（添付資料の「JMAT 活動状況」参照）。

また、その他の九州各県から沖縄、宮崎、佐賀、九州以外の地域から京都、埼玉などの計 15 チームが派遣に向けて準備中です。

JMAT 派遣については、第 1 段階では九州各県医師会からの派遣を優先していますが、第 2 段階では、全国に拡大することになります（添付資料の「JMAT 派遣先たたき台」参照）。JMAT への参加を希望される先生は、地元の都道府県医師会にご相談いただくこととなりますので、その旨ご承知おきください。

熊本県の被災地に入るためのルートは限定されますので、現地からの指示に従っていただく必要があります。今後も熊本県医師会と日本医師会が連絡を取り合って、支援の調整を行っていきます。

JMAT に参加される先生で、既に「医師資格証」を取得されている方は、必ず携帯して、明示いただくようお願いいたします。今回の災害では、倒壊した家屋に家具や貴重品などが置き去りにされているケースが多く、現地では盗難被害の発生が問題となっており、今後は詐欺なども危惧されます。医師である身分証明証として、現地でご活用をお勧めします。

交通の障害が大規模に発生しているため、現地の詳細な情報なしには被災地に到達できません。被害が大きい益城町、御船町で南北に分断されている状況です。従って福岡側から現地に入る方法と鹿児島側から北上する方法で被災地に入ることになります。

4月18日16時より、熊本地震発災以降では初となる「被災者健康支援連絡協議会（代表：日本医師会横倉義武会長）」が日本医師会館において開催されました。会議においては、厚生労働省、総務省など関係4省からの現状報告を受けた後に、各医療関連団体がこれまでの支援活動および要望する事項についてそれぞれ報告を行いました。各団体とも、東日本大震災の教訓から、迅速な対応を行えるようになっていきます。特に厚生労働省は、発災直後から職員を派遣して現地の状況把握に努めていますが、被害が広範にわたっている上、道路状況が悪く、さらなる情報収集が必要です。各団体は、DMAT支援以降の避難所の健康管理などに関して、それぞれの立場で準備を進めています。今後は「被災者健康支援連絡協議会」メンバーリストにより、連携を密にして情報共有を進めていきます。なお、次回は4月26日（火）17時から開催する予定です。

被災地の避難所には、いまだ多くの避難者がいます。現時点では入院患者や重症の患者、透析患者についての転院、移動はほぼ終了していますが、避難所によっては食料、水の供給の不足が指摘されています。また、発災後4日以上経過していますが、劣悪な環境の避難所もあり、感染症も出始めています。自家用車の中で寝泊まりしている避難者もあり、改善が必要です。今後は、医療従事者による避難所や被災家屋、被災で孤立している家屋などの見回りが求められます。熊本県単独や九州の各県の支援のみでは、十分な健康管理を継続的にすることはできません。今後は、九州以外の各都道府県への出動依頼を提案することになります。

日本医師会災害対策本部（代表番号：03-3946-2121、FAX：03-3946-6295）

平成28年熊本地震 JMAT(日本医師会災害医療チーム)活動状況  
(平成28年4月18日14時現在)

○ 派遣中

14 チーム 54 名

	都道府県等	派遣先	出発日・活動期間(予定)	医師	看護職	薬剤師	他医療関係者	事務員等
1	日本医師会	熊本県災害対策本部他	4/15～	1				
2	熊本県医師会	熊本空港ホテルエミナー ス→嘉島町民体育館	4/17～18	3	1			
3	熊本県医師会	嘉島町	4/18	1	2			1
4	熊本県医師会	益城町	4/18	1	2	1		1
5	熊本県医師会	南阿蘇町	4/17～18	1				
6	熊本県医師会	阿蘇市(阿蘇温泉病院)	4/18～19	1	1			1
7	鹿児島県医師会	宇土市→熊本市	4/17～19	1	2			1
8	鹿児島県医師会	宇土市	4/17～19	1	2			1
9	鹿児島県医師会	宇土市	4/17～20	1	2			1
10	福岡県医師会	熊本市	4/18～21	1	2	1	1	
11	福岡県医師会	熊本市	4/18～21	1	2			1
12	福岡県医師会	熊本市	4/18～20	3	2	1		
13	東京都医師会	熊本市(東区)	4/18～	1	1	1	1	1
14	兵庫県医師会	先遣隊	4/18～4/20	2				2
	計			19	19	4	2	10

○ 派遣に向けて準備中

15 チーム 73 名

	都道府県等	派遣先(予定)	出発日・活動期間(予定)	医師	看護職	薬剤師	他医療関係者	事務員等
1	沖縄県医師会	熊本市	4/18夕～4/23	3	2			1
2	福岡県医師会	熊本市	4/19～20	2	2	1		1
3	福岡県医師会	熊本市	4/21～24	2	2		1	
4	福岡県医師会	熊本市	4/25～28	1	2			1
5	熊本県医師会	益城町	4/19	1	2	1		1
6	熊本県医師会	益城町	4/20	1	2	1		1
7	宮崎県医師会	調整中	4/19～25	1	2			1
8	宮崎県医師会	調整中	4/20～24	1	2			1
9	宮崎県医師会	調整中	4/25～5/1	1	3		1	1
10	宮崎県医師会	調整中	5/16～5/22	1	3		1	1
11	宮崎県医師会	調整中	調整中	1	2			1
12	佐賀県医師会	調整中	4/19	1	2		1	1
13	佐賀県医師会	調整中	4/22	1	2			1
14	京都府医師会	調整中	4/20～4/22	4				
15	埼玉県医師会	調整中	調整中	5				
	計			26	28	3	4	12

## ○ 派遣終了

11 チーム

33 名

	都道府県等	派遣先	活動期間	医師	看護 職	薬剤 師	他医療 関係者	事務 員等
1	熊本県医師会	益城町(広安小学校)	4/16	2				1
2	熊本県医師会	益城町(総合保健福祉センターはびねす)	4/16	1				
3	熊本県医師会	益城町(総合体育館)	4/16	1	1			1
4	熊本県医師会	益城町(はびねす、広安小、総合体育館) 宇土市	4/16~17	1	1		1	2
5	熊本県医師会	益城町(はびねす)	4/17	1	1			
6	熊本県医師会	益城町(はびねす)	4/17	1				
7	熊本県医師会	益城町(広安小学校、グランメッセ)	4/17	1	2	1		1
8	熊本県医師会	益城町(愛児園、飯野小、広安西小)	4/17	1	1			1
9	熊本県医師会	益城町(はびねす) 嘉島町民体育館	4/16~17	1	2	1		1
10	熊本県医師会	益城町(はびねす、広安小) 嘉島町民体育館	4/16~17	2				2
11	熊本県医師会	嘉島町民体育館	4/17	1				
	計			13	8	2	1	9

平成28年（2016年）熊本地震 JMAT派遣先（4月18日14時版）

（日本医師会 たたき台）

	第1段階 （九州各県医師会からの派遣を優先）	第2段階 （第1段階に加えて）
熊本市、上益城郡（益城町、御船町など）以北	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県	東京、中部、近畿、中国四国
宇土市、宇城市、下益城郡（甲佐町、美里町など）以南	宮崎県、鹿児島県、沖縄県	北海道、東北、関東甲信越、東京
阿蘇地域（立入が困難な地域）	今後の状況を見て検討。	

※ 被害の拡大・縮小、避難所の設置状況等を踏まえ、適宜見直すなど柔軟に運用する。

※ いずれの場合も、被災県医師会のコーディネート機能に従う。

※ 一定期間経過後は、同一の都道府県医師会が、継続的に派遣を行い、適切な時期に被災地の地域医師会・医療機関に引き継ぐようにする。